

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70187
事業名	食育推進費					
評価担当課	所 属	教)生涯学習部 学校給食課			電話番号	011-211-3713
施策名	子どもは、生涯にわたって心身の健康の保持増進を図る資質や能力					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営	○ 一部委託	○ 全部委託	○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	国の第4次食育推進計画では「学校給食における地場産物を活用した取組の増加」が目標の一つにあげられている。本市の道内産食材の使用は重量ベースで76%(R4実績)だが、更に地産地消を進める取組が必要である。また、健康寿命延伸の観点から、野菜摂取不足を改善するため、野菜を積極的に食べようと思う意識変容や習慣づけが大切となる。
	事業内容 (何を実施し)	【内容】 ・「札幌市学校給食の食事内容」に基づいた給食提供 ・給食だよりや給食試食会等で家庭や地域への食に関する周知啓発 ・健康寿命延伸を目的とし、家庭や地域に向けた野菜摂取量増加と減塩に関する働きかけ(食指導とアンケートの実施等) ・フードリサイクル堆肥を活用して栽培した野菜の給食での活用(野菜摂取や地産地消に関する食指導) ・フードリサイクル堆肥を学習活動に活用 ・食に関する指導の全体計画に基づく栄養教諭・栄養士を中核とした指導 【結果】 ・野菜摂取量について意識している人の割合 63. 7% ・家庭で減塩を意識している人の割合 45. 7% ・フードリサイクル作物提供校数 298校(全校) ・フードリサイクル堆肥活用校数 203校
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	学校教育の一環として市立小中学校及び特別支援学校において学校給食を実施し、適切な栄養管理を行うとともに、健康寿命の延伸やSDGsの観点から環境教育を取り入れた食指導を行うことで、児童生徒の食生活の一層の充実、心身の健全な発達、食に関する正しい理解と適切な判断力を養成する。
	他都市の状況	フードリサイクル事業は、全市的な取組としては本市が先駆的に行っている事業である。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	1,100 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.05 人工
令和5年度決算額	1,025 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.05 人工
令和6年度予算額	1,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.05 人工

指標	アウトプット 活動指標1	学校でのフードリサイクル等も含めた地産地消の指導回数		という活動、業務を行うことで			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		2.8回	4回	3.9回	5回	6回	7回
	↓						
	アウトカム 成果指標1	野菜摂取量について意識している人の割合が増加			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		66.20%	67.20%	63.40%	68.20%	69.20%	70.20%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方						
	アウトプット 活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム 成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	引き続き当該事業を実施することで、食育・環境教育の充実を図るとともに、家庭地域との連携の推進に努める。